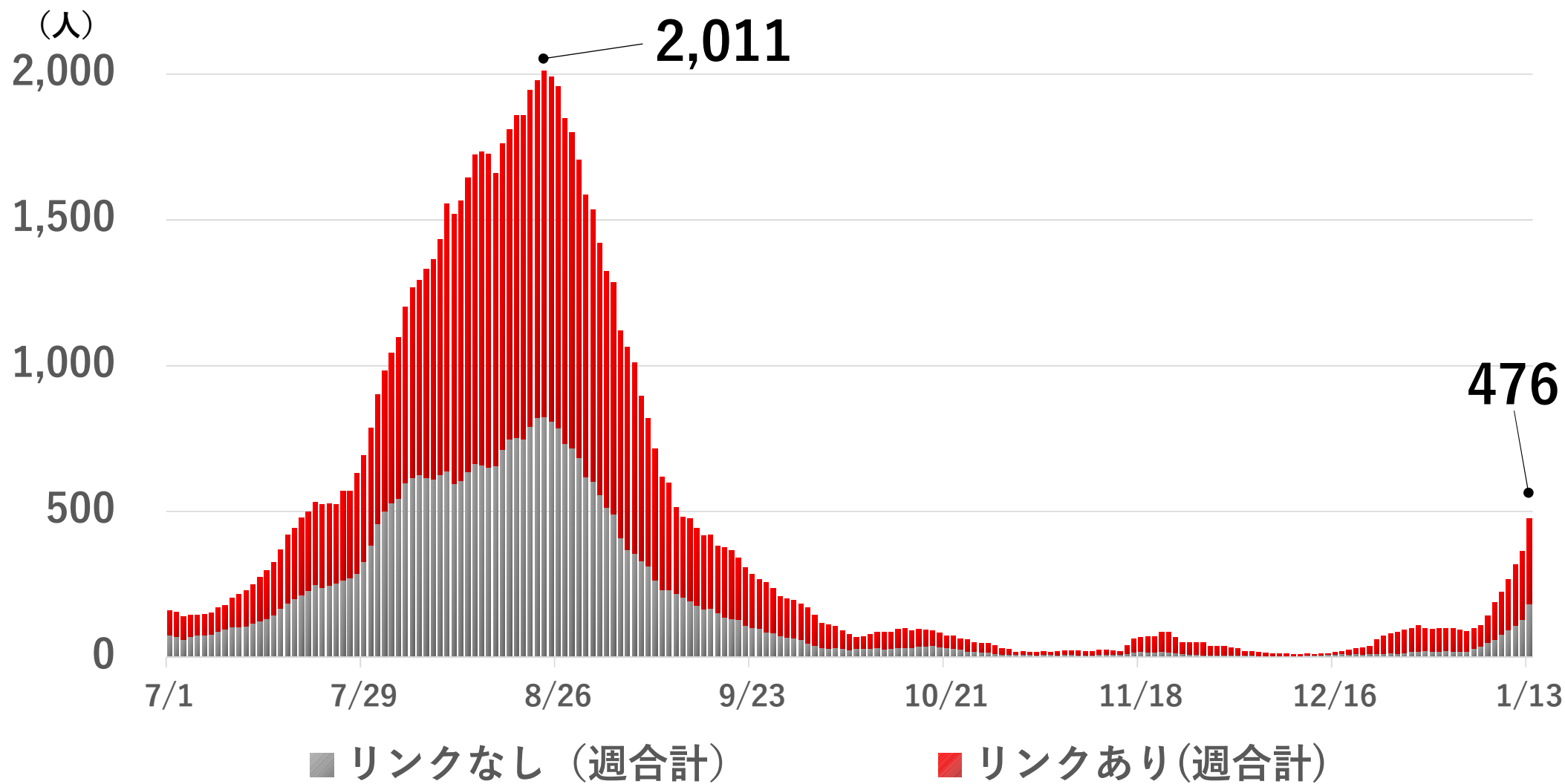


札幌市感染症対策本部会議

札幌市の感染状況について

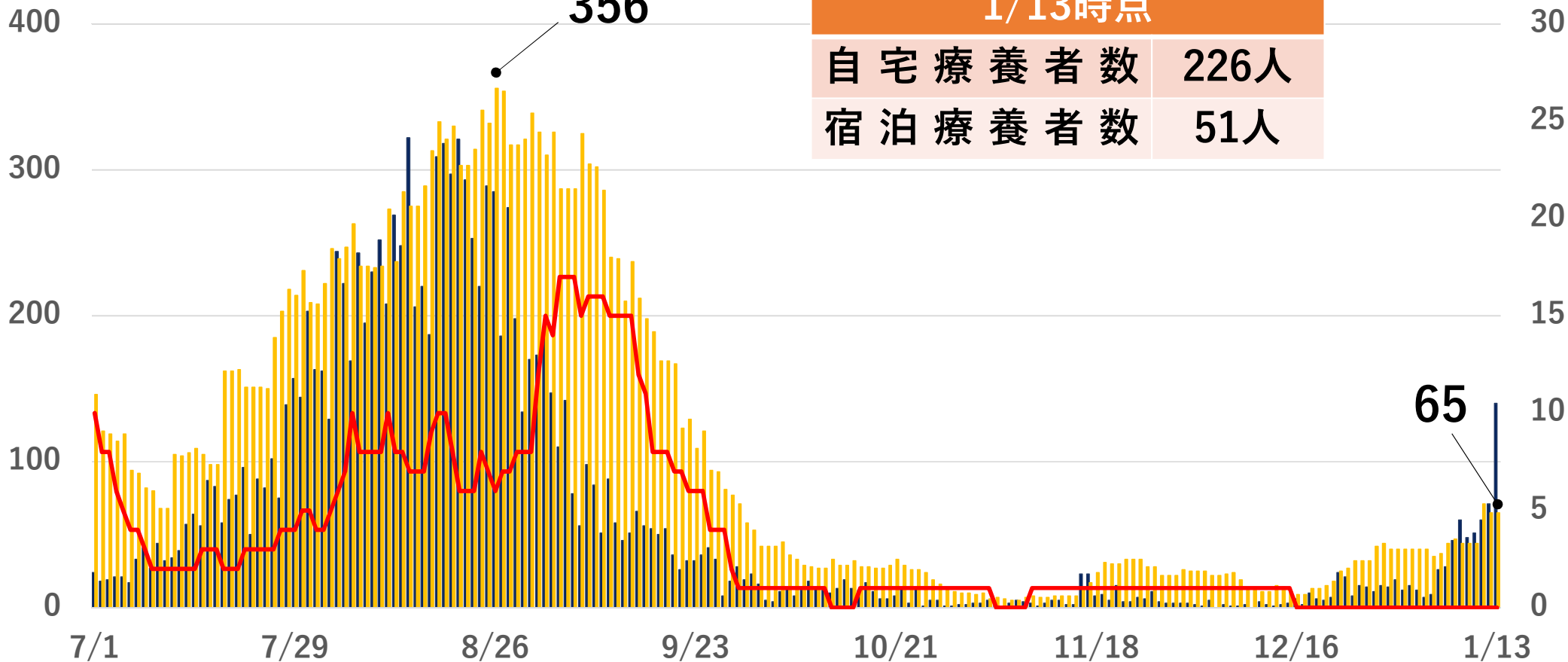
令和4年1月14日
札幌市保健所

市内新規感染者数の推移



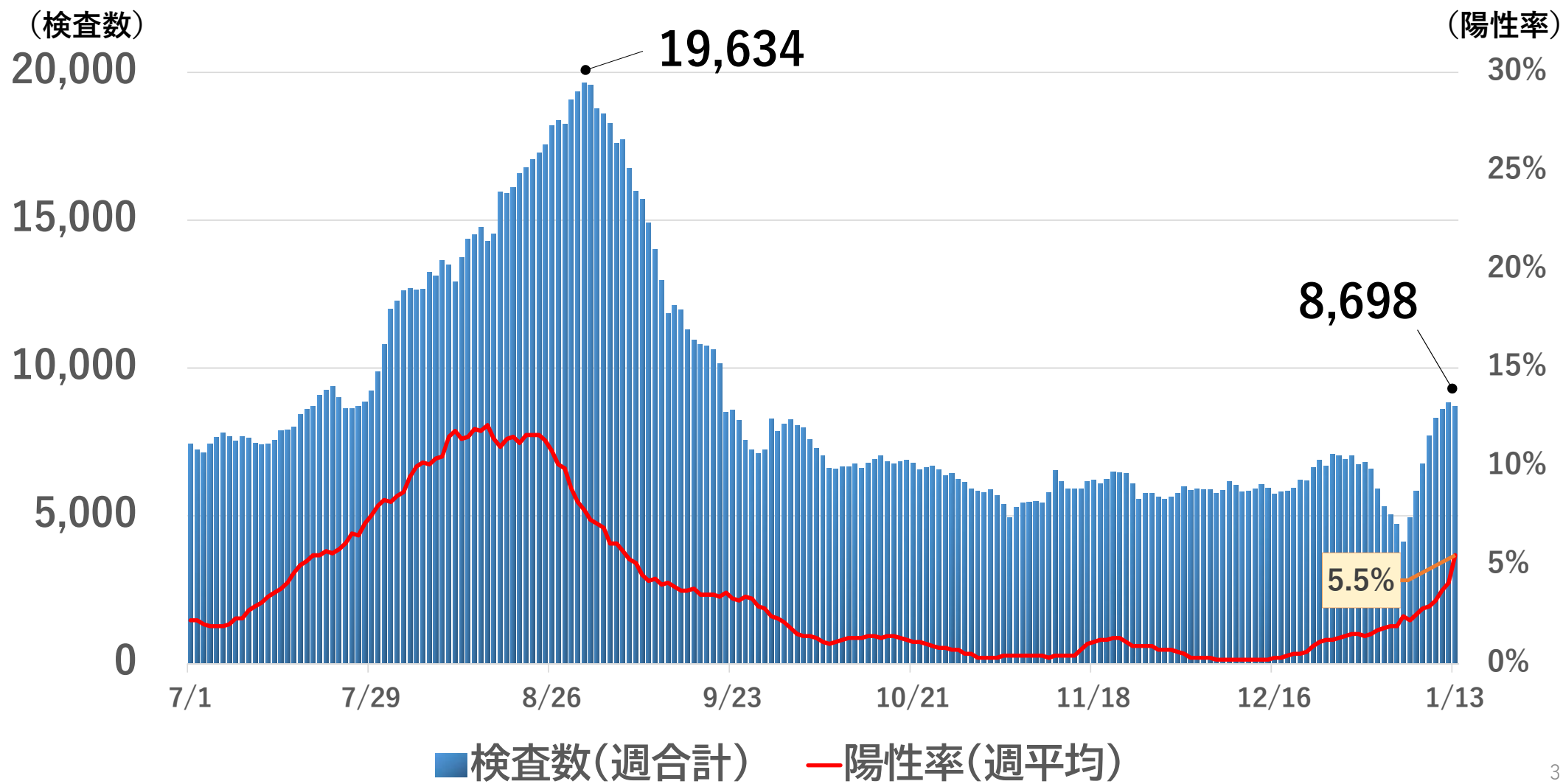
札幌市民の感染者数・入院患者数・重症患者数の推移

(新規感染者・入院患者数)

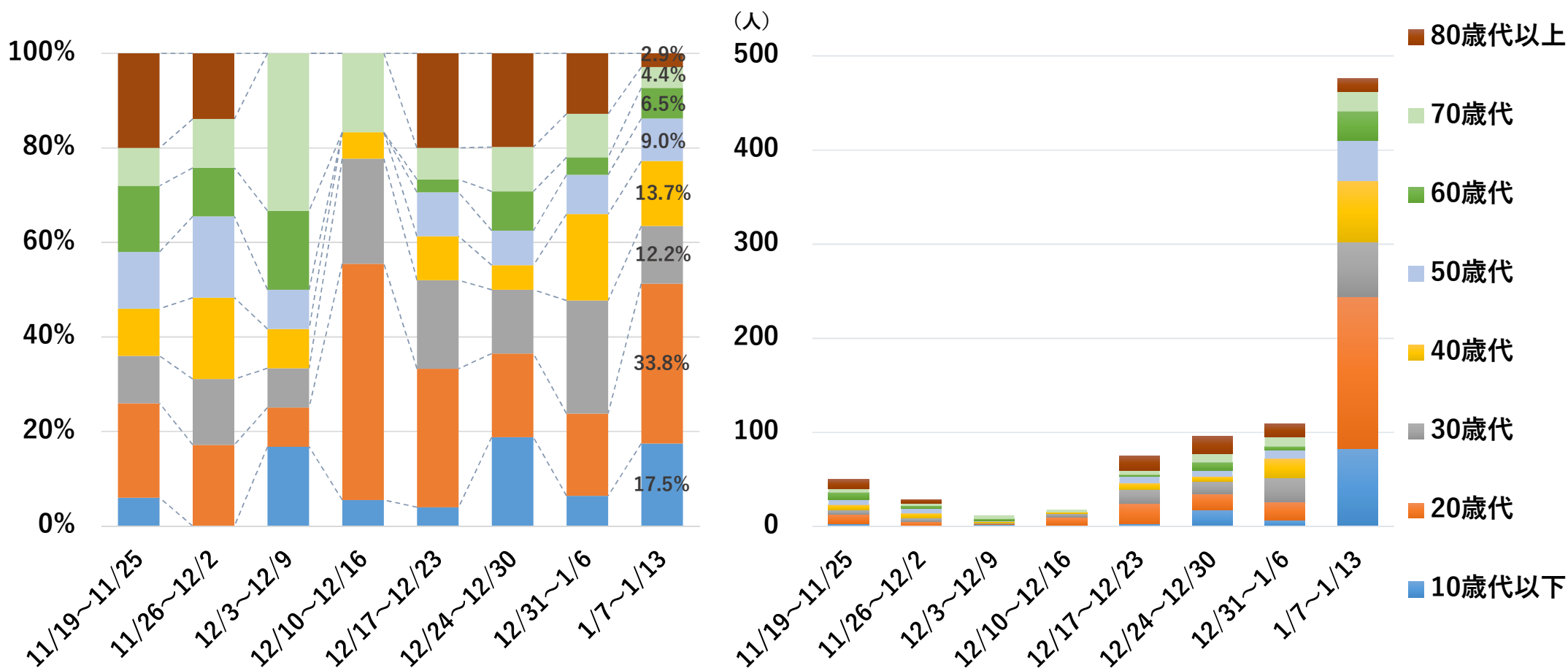


■新規感染者数 ■入院患者数 —重症患者数

市内検査数と陽性率の推移

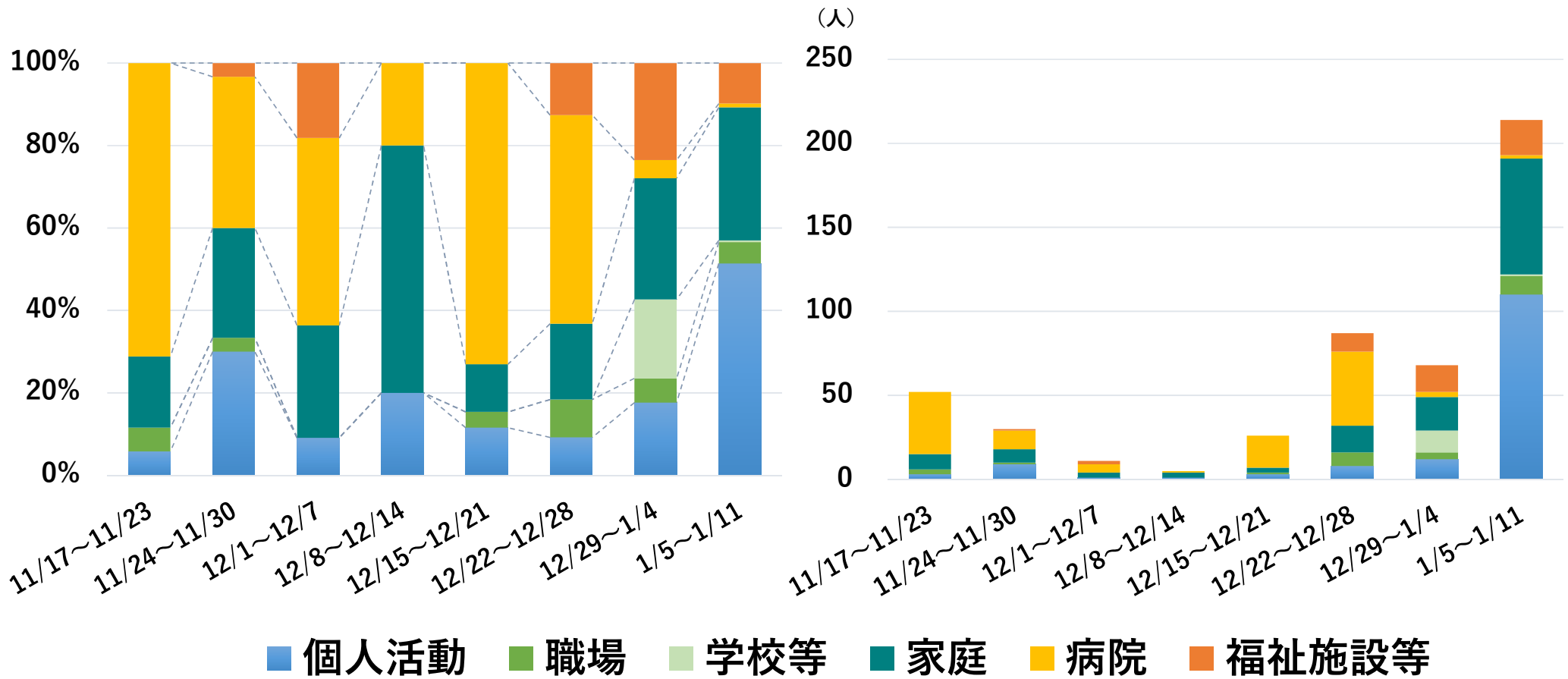


市内年齢別感染者数の割合



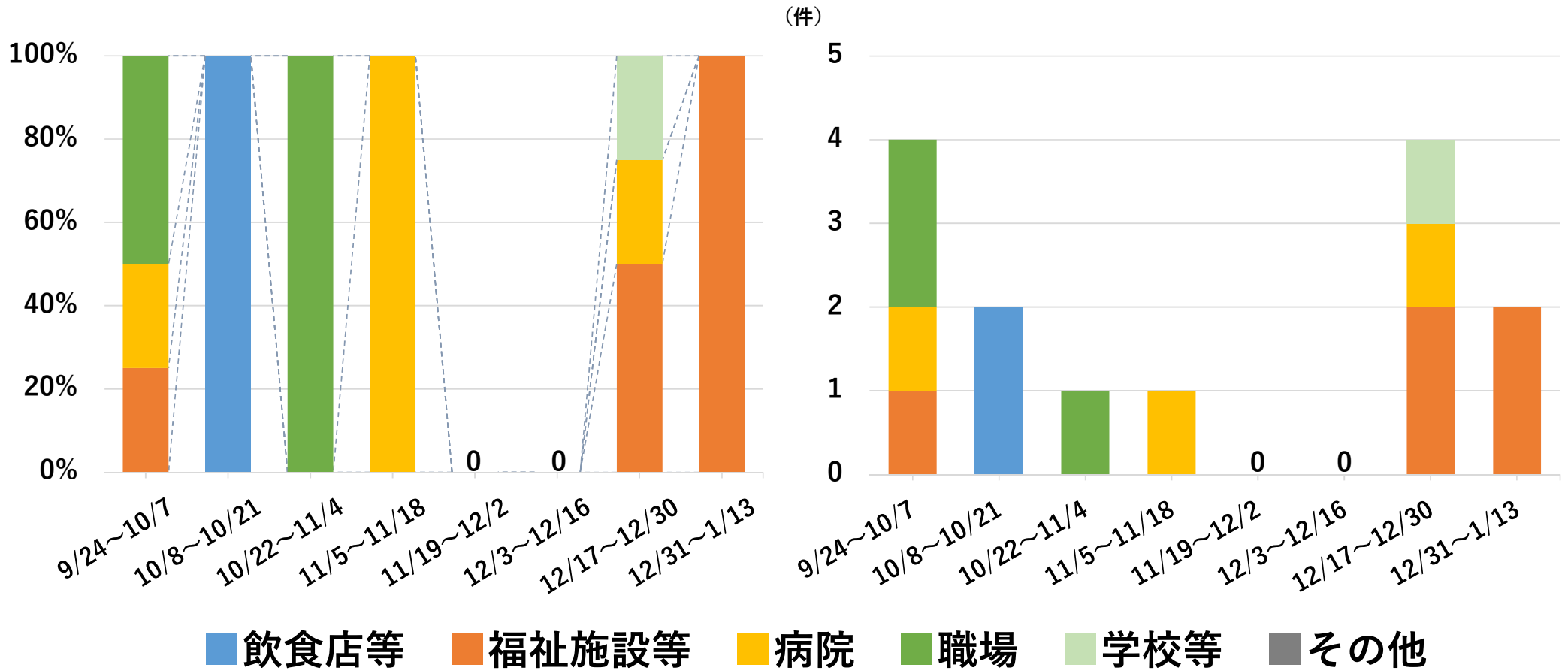
➤ 幅広い年代で増加がみられるが、特に10~20歳代の増加が著しい

市内新規感染者（リンクあり）の感染経路



➤ 個人活動を感染経路とする割合・件数が増加

市内集団感染事例



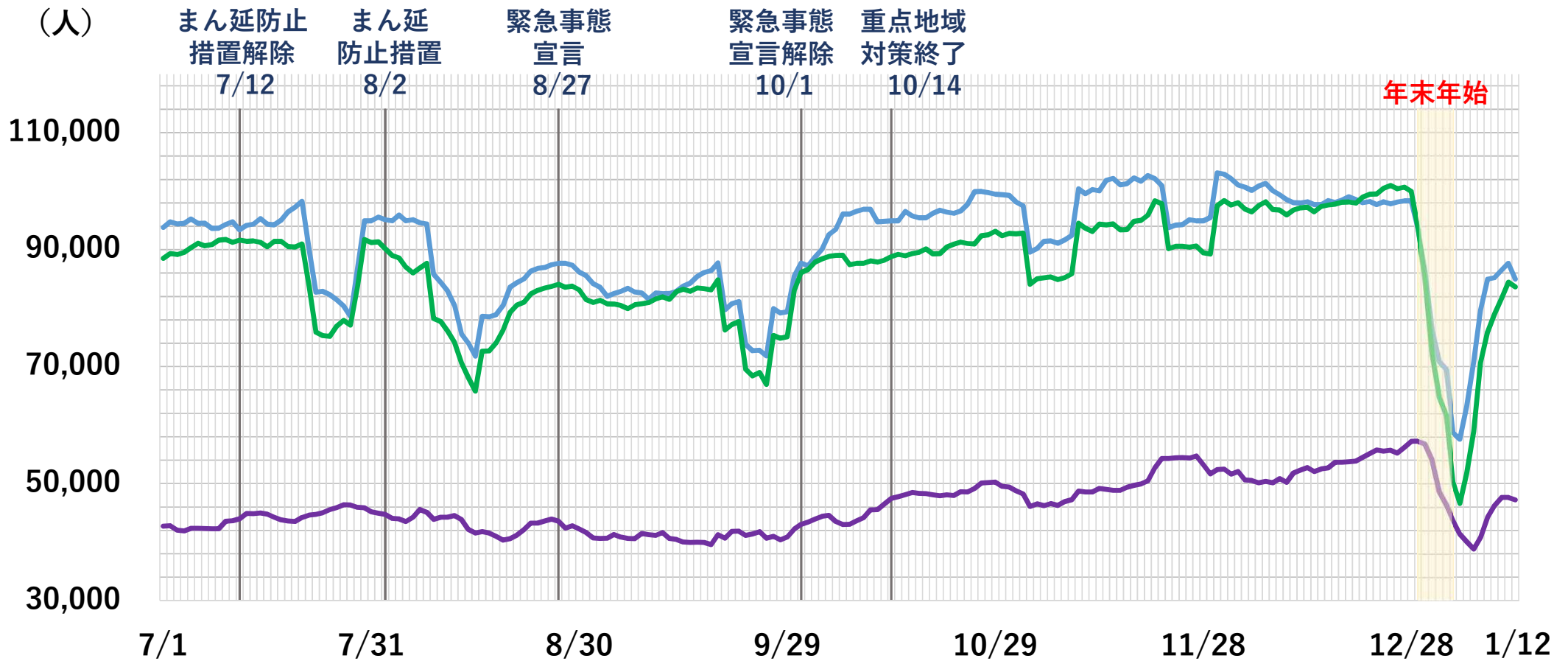
➤ 12月下旬以降、複数の福祉施設で集団感染が発生

市内中心部の人出（午前9時、7日間平均）

—札幌駅

—大通駅

—すすきの駅



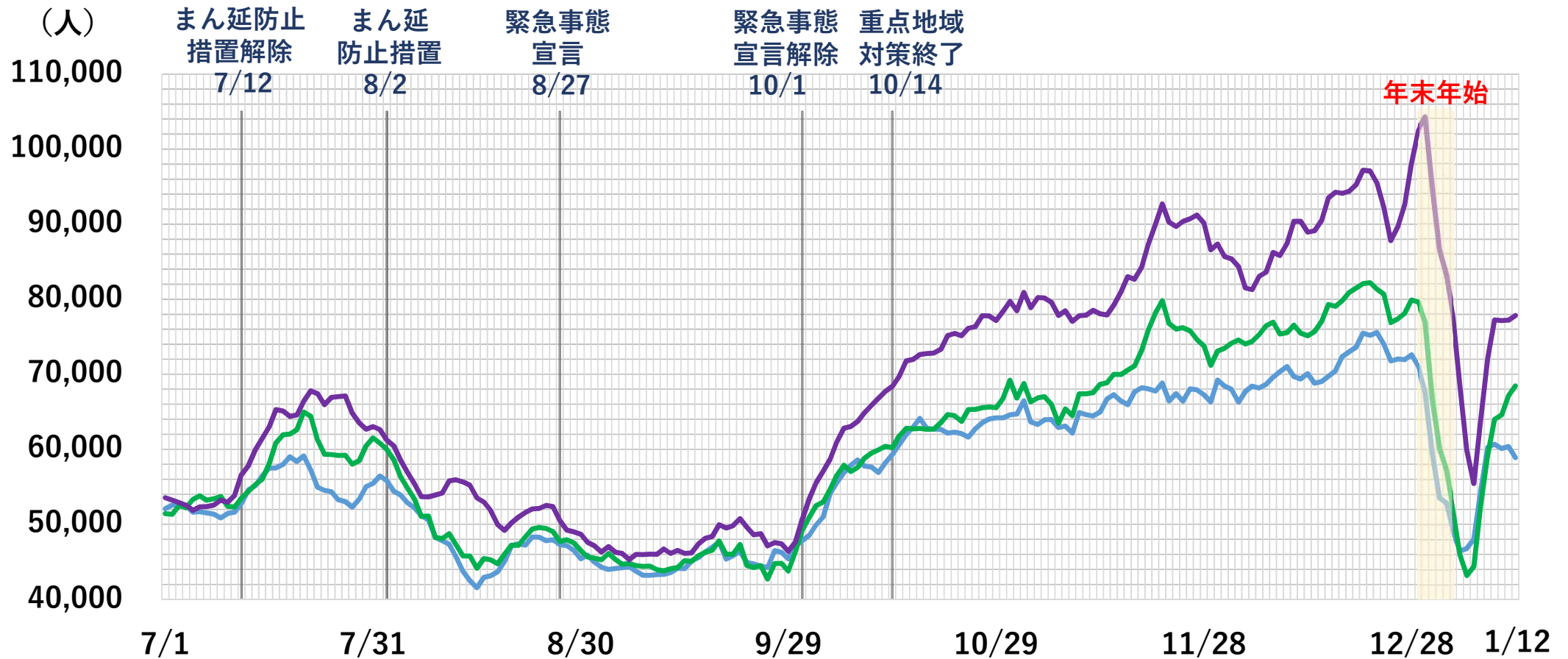
※Agoop社提供データを元に作成

市内中心部の人出（午後8時、7日間平均）

札幌駅

大通駅

すすきの駅



※Agoop社提供データを元に作成

入院受入病床の状況

令和4年1月14日
保健福祉局保健所

➤ 市内の感染状況は、市内で初めて、オミクロン株に感染した患者が確認されて以降、感染が急拡大するとともに、デルタ株からオミクロン株への置き換えが急速に進んでいる状況です。

	9月28日	10月8日	12月22日	1月14日
① 確保病床数【 現在フェーズ1 】	609	489	433 【 フェーズ3 】 611	444(+11) 【 フェーズ3 】 622
② 実質受入可能病床数	570	482	433	444(+11)
③ 入院患者数(市外患者含む)	80	34	25	67
④ 実質病床使用率 (③÷②)	14.0%	7.1%	5.8%	15.1%

※1月18日から全道で「フェーズ2」に移行することとなり、準備を進めているところ。**確保病床数は516床**となる予定。

抗体カクテル療法などの治療実績

令和4年1月14日
保健福祉局保健所

(1) 抗体カクテル療法（ロナプリーブ）の治療実績（1月11日時点）

	12月22日	1月11日
【総計：①+②+③】 38か所の医療機関など	446	507(+61)
① 入院受入医療機関の37病院（39病院中）	378	433(+55)
② 第1入院待機ステーション（9/1～9/16）	68	68
③ 高齢者施設クラスター（12/31～）	—	6(+6)

(2) 中和抗体薬（ゼビュディ）の治療実績（1月11日時点）

	12月22日	1月11日
入院受入医療機関の11病院（39病院のうち <u>30病院登録済み（16病院⇒30病院：+14）</u> ）	28	42(+14)

※ 今後のオミクロン株への対応を想定し、変異株にも効果のあるゼビュディの活用体制の強化を図っている

(1) + (2) 抗体カクテル療法などの治療実績（1月11日時点） 合計 549人 (+75)